

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
北九州市黒崎副都心地区

平成26年3月

福岡県北九州市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見		
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性			
指標1	駅乗降客数	人/日	32,320	28,109	30,134	確定 見込み	○	あり なし	—	31,018	平成25年6月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	シンボルロード・黒崎駅前線と駅前の顔・ペDESTリアンデッキの整備等により、安全性や駅へのアクセシビリティ等が向上した。
指標2	中心商店街内の歩行者通行量	人/日	18,344	13,972	16,216	確定 見込み	○	あり なし	—	16,871	平成24年10月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	黒崎駅前線をはじめとする安全で快適な歩行者空間及び椴川やペDESTリアンデッキ等の交流空間の整備により求心力が向上した。
指標3	地区内人口	人	10,954	11,460	13,510	確定 見込み	○	あり なし	—	13,345	平成25年4月	○	—	<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	低未利用地等における宅地開発や共同住宅等の新設及び交通体系や交流空間等の整備等により住環境が向上した。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 見込み				H 年月			<input type="checkbox"/> 改善策はそのまま <input type="checkbox"/> 改善策に補強が必要 <input type="checkbox"/> 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> 成果を持続させるための方策 	安全・安心・快適で美しい市街地の形成	<ul style="list-style-type: none"> ペDESTリアン・デッキなどの整備 歩行者空間の安全性及び快適性の向上 案内板、花壇、照明灯等の設置 地区計画、建築協定の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ペDESTリアン・デッキの整備(エスカレーター等)が進捗し、安全性及び景観性が向上した。 案内板の設置工事(残工事)に着手して工事中。 地区計画による風俗規制の働きかけにより、藤田地区においては策定見込みとなり、他地区においても勉強会が開催された。 	<ul style="list-style-type: none"> ペDESTリアン・デッキのさらなる利便性向上のため、主要導線(JR駅を中心とした東西南北)にループを設置する。 地区計画策定における地権者同意のハードルが高く、引続き働きかけが必要。
	街なか居住の促進	<ul style="list-style-type: none"> 低未利用地や空家等の利活用促進 公園や河川等のアメニティ空間の充実(芝生広場の利用促進) 	<ul style="list-style-type: none"> 遊休不動産に関する所有者の意向調査を実施中。 芝生広場(曲里の松並木公園)の利用が促進された。 	<ul style="list-style-type: none"> 遊休不動産の所有者への利活用の働きかけが必要。 イベント主催者による情報発信の強化
改善策 <ul style="list-style-type: none"> まちづくりの目標を達成するための改善策 残された課題・新たな課題への対応策 その他 必要な改善策 	にぎわい核を基点とした交流促進・活性化	<ul style="list-style-type: none"> 来街者や地域住民等との交流を目的としたイベント事業等の実施 文化・交流拠点地区と駅周辺施設等の連携強化 筑豊電鉄や路線バスを含めた公共交通の結節性強化 	<ul style="list-style-type: none"> 地域が主体となったイベントが活発化した。 イベント時に黒崎駅前線(文化・交流拠点地区と駅を結ぶメインロード)を歩行者専用として開放し、文化・交流拠点地区と一体的にイベントを開催した。 公共交通の案内表示の補完を行った。 公共交通1日フリー乗車券の試行(期間限定)。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域が主体となったイベントの継続性。 地元や主催者の相互の情報共有及び連携。 イベント実施に係る手続き等の簡素化(道路使用許可等)。 フリー乗車券の提携施設の拡大。
	持続可能なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 街なか情報発信の推進 リノベーション等による空き店舗等の活用促進 まちづくりの担い手の育成 地域コミュニティの醸成や活性化に資する活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> 地元から情報発信に関する企画提案があった。 リノベーションに関する啓発活動により、関係者の意識の醸成が図られた。 地元の団体によるまちづくりの担い手の育成が実施された。 地域コミュニティに関する調査及びその結果に基づく企画が提案された。 	<ul style="list-style-type: none"> 自立的、継続的に展開するため、地域が主体となった仕組みづくりを要する。 リノベーションの手法を活用するにあたり、まちの課題を明確化する。 継続的なまちづくりの担い手育成の実施。 地域コミュニティの醸成に資する取組に関して、客観的な評価による改善。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項